GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

1.早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	洋上風力発電の低コスト化
b.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	次世代型太陽電池の開発

2.具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	洋上風力発電の低コスト化
対象行動	中間・最終製品製造
概要	洋上風車タワーの製造において、合理化溶接技術、ブラスト・塗装ロボット施工システム、AIを活用した非破壊検査システムを開発・導入し、生産工程の省力化・自動化を推進します。溶接・塗装・検査工程の効率化により、タワー製造コストおよび製造工程における温室効果ガス排出量を削減するとともに、国内サプライチェーンの構築による地産地消を推進し、洋上風力発電の導入拡大に寄与することで、再生可能エネルギーの普及拡大とGX推進に貢献します。

b.	次世代型太陽電池の開発
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社では既に太陽光発電設備の導入を進めており、設置可能な建屋についてはシリコン系太陽光パネルの設置を完了しています。今後は、耐荷重上の制約からシリコン系太陽光パネルを設置できなかった建屋に対し、技術開発の動向や経済合理性を踏まえつつ、製品のGX価値を積極的に評価したうえで、軽量で荷重制約の少ないペロブスカイト型太陽電池の導入を検討・推進し、GHG排出量の削減を図ります。

3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	洋上風力発電の低コスト化
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

b.	次世代型太陽電池の開発
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	洋上風力発電の低コスト化
目標年度	
定量的目標	

選択対象に関する定量的目標の概要	

b.	次世代型太陽電池の開発
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	自社単体

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026年9月24日

株式会社駒井ハルテック

代表取締役社長　駒井恵美